

各位

上場会社名 オプテックス株式会社  
 代表者 取締役会長兼代表取締役社長 小林 徹  
 (コード番号 6914)  
 問合せ先責任者 取締役兼執行役員 管理統括本部長 東 晃  
 (TEL 077-579-8000)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	1,750	1,800	1,150	69.49
今回修正予想(B)	13,003	1,517	1,135	725	43.86
増減額(B-A)	△1,497	△233	△665	△425	
増減率(%)	△10.3	△13.3	△36.9	△36.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	13,928	1,632	1,675	1,058	63.96

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,000	4,000	4,100	2,700	163.16
今回修正予想(B)	32,000	3,300	2,900	1,750	105.75
増減額(B-A)	1,000	△700	△1,200	△950	
増減率(%)	3.2	△17.5	△29.3	△35.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	27,793	3,161	3,222	2,051	123.96

### 修正の理由

#### 【第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正】

売上高につきましては、センシング事業の防犯関連において、国内は一般施設向け屋外警戒用センサ販売が、大口案件の一巡に伴い伸び悩みました。海外は欧州では特に南欧地域の一般住宅向け、北米地域では大型重要施設向けの屋外用警戒センサ販売が堅調に推移したものの、アジア地域での警戒用センサ等の販売が低調に推移したことにより、当初予想を下回る結果となりました。センシング事業の自動ドア関連においては、北米地域で一過性の需要鈍化に伴い販売が低調に推移しました。

営業利益につきましては、前述の売上低調に伴う粗利益額の減少により、前回予想を下回る見込みです。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、年初からの急速な円高傾向に伴う為替差損の計上により、前回予想を大きく下回る見込みです。

#### 【通期連結業績予想数値の修正】

まず、業績予想の前提となる第3四半期以降の想定為替レートにつきましては、米ドルは120円から100円に、ユーロは130円から110円に、ポンドは170円から130円にそれぞれ変更しております。

売上高につきましては、前述の想定為替レート見直しにより、主にセンシング事業の防犯関連(米州、欧州)、生産受託事業で計画を下方修正しておりますが、シーシーエス株式会社、英ガーダソフトビジョン社の連結子会社化の効果により、前回予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、上述2社の連結子会社化による効果を見込むものの、第2四半期累計期間に生じた下振れ要因と、前述の想定為替レートの見直しにより、前回予想を大きく下回る見込みです。

※上記の業績予想は、本資料発表現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上